令和８年度　甲斐市立敷島中学校　グランドデザイン

◎やまなし教育大綱　〇山梨県教育振興基本計画
山梨県学校教育指導重点

＜基本理念＞
主体的に学び他者と協働し豊かな未来を拓くやまなしの人づくり
＜４つの目標＞
未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進
誰もが可能性を伸ばせる教育の推進　　教育ＤＸの推進
学校を取り巻く教育環境の整備

教職員の願い

公の社会で通用する人間の育成
「しなやかな心」の育成
〇笑顔のあいさつができる生徒
〇明日もまた来たいと思える学校
〇夢・希望・勇気を持ち，
挑戦し続ける人間

保護者・地域の願い

保護者や地域から愛され，親しまれる
「敷島中学校」
〇明るく伸び伸びと学校生活を送る生徒
〇楽しく学び，汗を流して活動する生徒
〇地域の一員として，地域に貢献し，
地域の未来を担う生徒

創甲斐教育推進大綱

◎甲斐市に育ち，甲斐市を育てる人づくり
〇心豊かにたくましく，共に生きる甲斐っ子づくり

学校教育目標

『一人一人の個性を伸ばし，自ら学ぶ生徒の育成を図る』
校訓『敬　愛』

Plan　Do　Check　Action

めざす生徒像

自ら学ぶ生徒（知）　心豊かな生徒（情）　よく働く生徒（意）　体を鍛える生徒（体）

学校経営の重点目標

『生徒一人一人を大切にする学校づくり』
＜数値目標＞　「将来に夢や希望を持てる」生徒８０％以上，「相談できる先生がいる」生徒８０％以上
※数値はＲ７生徒アンケートによる　（R7:64.9%）　（R7:71.4%）

生徒の実態

〇素直で，向上心・向学心を持ち，学校生活を送っている生徒が多い。
〇家庭学習の習慣が身に付いている生徒が多くなってきている。
〇自分の考えや意見を発表することに苦手意識を持っている生徒が多い。

＜柱１＞　心づくり・体づくり
豊かな心・健やかな体の育成
伝統・文化の継承地域や社会への貢献

〇全教育活動を通じた人権教育の推進
〇考え議論する道徳の充実
〇心身の健康と安全を守るための体制整備
〇スポーツ・文化・芸術に触れる機会の創出
〇学校の文化・伝統の継承と発展
〇福祉・ボランティア体験の充実
〇誰一人取り残さない共生社会の実現(SDG's)
〇異年齢集団による社会性・協調性の育成
〇地域への貢献活動

＜柱２＞　学びづくり
主体的・対話的で，深い学びの実現

〇生徒が主体の授業づくり
〇学習規律の確立，学び合いのある授業
〇基礎基本の確実な定着
〇思考力・判断力・表現力等の向上
〇ＩＣＴを活用した授業実践
〇全国学調・県学力調査の活用
〇他教科や小学校とつながりのある授業
〇少人数指導や補習授業の設定
〇家庭学習の習慣化，授業とのつながり

＜柱３＞　連携づくり
開かれ，信頼され，地域に誇れる学校

〇学校運営協議会の活用による学校経営・学校運営の客観性の向上
〇各種たより，学校ＨＰによる情報発信
〇小中連携教育の推進（出前授業・合同研究会・合同引き取り訓練）
〇保護者・地域との連携強化
〇外部人材の積極的な活用

【基盤１】愛情と信頼に満ち，生徒相互のより良い人間関係を育てる学級経営
〇生徒理解に基づいた生徒指導　〇問題の早期発見と組織的対応（さしすせそ）　〇生徒と向き合う時間の確保
〇集団生活，体験活動における規範意識の徹底　〇モラル・マナーの定着　〇人権意識の涵養　〇『生徒心得』の運用
【発達支持的生徒指導　連絡ノート　Hyperl-QU の活用　保護者との連携　体罰・不適切な指導の根絶　ジェンダー平等】

【基盤２】安全で安心な学校づくり
〇いじめの未然防止・早期発見・再発防止　〇不登校の未然防止・初期対応・学校復帰支援・学習保障
〇個人情報の適切な管理　〇実態に即した危機管理体制の確立　〇関係機関との適切な連携　〇感染症等への適切な対応

【基盤３】効率的かつ効果的な働き方の追求・業務改善の更新
〇各行事の目的の明確化・焦点化　〇ＡＩ等の有効活用　〇勤務時間の適正化（放課後活動の見直しや運用の検討）〇整理整頓
〇職員間での共通理解

教員育成指標・校内ＯＪＴの充実

【地域の支え】〇PTA 活動　〇保護司あいさつ運動　〇職場体験学習　〇敷中クリスタル（植栽活動）　〇学校行事の支援
〇部活動・地域クラブ支援